



絆

きずな

平成26年10月
第45号
荒川区立南千住第二中学校
校長 齊藤 進

ナンちゃん・ニーくん



なぜサンマの背は青く、腹は白いのか ～「身の回りのこと」に関心をもとう～

校長 齊藤 進



3人の研究者がノーベル物理学賞を受賞したことが大きなニュースになりました。20世紀中は無理と言われた青色LED「Light(光)Emitting(出す)Diode(ダイオード)」の開発が受賞理由となりました。青色LEDは私たちの生活の中で、照明器具、スマートフォン、液晶テレビ、信号機、ブルーレイディスクなど幅広く使われています。今回の受賞は「人類のより良い生活につながる発明」というノーベル賞の考えにまさに一致した結果だと思いました。

さて、私が尊敬する化学者の藤島昭先生を紹介します。藤島先生は現在、東京理科大学学長で、これまで東京大学特別栄誉教授、日本化学会会長、神奈川科学技術アカデミー理事長を務められ、内閣総理大臣賞を受賞するなど日本の化学会をリードされてきました。先生は水の光分解から「光触媒」という物質の発見に成功しました。光触媒は、コーティングすると水と光があれば汚れを寄せ付けない(セルフクリーニング)特徴があり、建物の外壁、車のドアミラー、日常使う鏡、空気清浄機、舗装用ブロック、新幹線の車両、トンネル内のミラー、観葉植物など青色LEDと同じように実用化されています。このようなすぐれた研究について毎年、天皇皇后両陛下にご進講されています。

かつて横浜市で行われた藤島先生の講演に感動した私は、思い切って荒川区での講演を依頼しました。無理ではないかと不安を募らせつつ電話をかけましたが、快く講演を受けていただいたときのことは今でも鮮明に覚えています。

藤島先生はノーベル化学賞を受賞されてもおかしくないと言われながら、経歴の上にあぐらをかくことなく実に実直で親しみやすい先生です。なぜ、尊敬するのかと問われれば、そうした人柄に加え、毎日生きていることが楽しくてしょうがないとおっしゃいます。道端の雑草に思いをはせて、その種類を考えたり、池を走るアメンボを観察したり、日常生活の中に感動を見つけられています。目を輝かせながら「小学生に教えることが本当に好きなんです。」とおっしゃる先生に尊敬の念を抱かざるを得ません。

藤島先生は身の回りのことに「なぜ」と疑問をもつことが大切だといいます。タンポポや朝顔はいつ開花するのか、桜の花はどうして一斉に開花するのか、ピラミッドはどのようにしてつくられたか、地球に埋蔵された石油の量はあとどれくらいか、など先生の講演は時が経つのを忘れてしまいます。

藤島先生は読書を勧めます。「いないいないばあ」、「ぐりとぐら」などの絵本、「15少年漂流記」、「ころ」など、幼い時期や少年期に心を耕すことの大切さを訴えます。

最後に、(1)基礎をしっかり。 (2)広い教養をつける。 (3)身の回りのことに関心をもつ。 (4)くらべることの面白さを知る、ことをはじめ、静かに考えること、陰徳(誰も見ていないところでよい行いをする)を積むことを講演を通して教えていただきました。

さて、サンマの背はなぜ青く、腹は白いのか。答えは10月28日の全校総合の授業でお話しします。



生徒会役員選挙

9月19日(金)、生徒会役員選挙が行われました。今期の立候補者は生徒会長3名(2年生)、生徒会本部役員2年生4名(会長との重複立候補者を含む)、1年生6名でした。1校時に立候補者の立ち会い演説会が行われ、この日1日(16時まで)が投票日とされました。



南千住二中の生徒会役員選挙は本格的です。記載台や投票箱も荒川区選挙管理委員会からお借りした本物で、1週間前に渡されている投票整理券と引き替えに投票用紙を受け取り、休み時間や放課後の時間に各自が投票を済ませました。今年度も当日欠席者を除き投票率は全校で100%と意識の高さがうかがえました。大人も是非見習いたいものです。投票は選挙管理委員会によって即日開票され、その結果、生徒会長2年1組男子をはじめ、7人の新生徒会役員が出そろいました。



本格的な投票の風景

9月29日(月)の生徒会朝礼では、新旧生徒会役員の引き継ぎ式が行われました。この引き継ぎ式で生徒会活動の中心が3年生から2年生・1年生にバトンタッチされました。今回退任する3年生は、生徒会長と、生徒会本部役員3名の計4名です。4人は1年生のときに、25期本部役員に当選しました。翌年、26期役員にもそろって再選をはたしました。1年生のとき、毎日のように本部の仕事に追われ、自分たちの部活動にも参加できないような経験から「生徒会本部をコンパクトに、効率的に」というコンセプトで改革に乗り出しました。特にそれまで生徒会本部が一手に引き受けていた放送活動を多くの生徒の活動にした



いと、放送委員会を立ち上げました。

他にも、あいさつ運動の強化、朝の放送の実施、ボランティア活動の活発化など、多くの功績を残し、まさに南千住二中の生徒会史に残る活動をし、魅力的な生徒会本部を作り上げました。今回の本部役員選挙で10人ももの立候補者が出たことも、それを物語っています。

本部ばかりではなく、生徒会活動全般が下級生に引き継がれていきます。27期生徒会も会長・本部役員を中心に大いに発展するよう期待したいと思います。

なお、26期生徒会本部は霜月祭まで活動します。それまでが27期への引き継ぎ期間となります。

〔新生徒会役員(27期)〕

- 生徒会長 2年1組男子
- 生徒会本部役員 2年2組女子、2年3組男子、2年3組男子、1年2組女子、1年3組男子、1年3組女子 計7名



退任する旧本部役員のあいさつ



新生徒会本部役員に認証状授与

地域ボランティア

南千住二中生が地域のボランティア活動にも積極的に参加しています。9月15日(月)の敬老の日には、3年生2名が「長寿慶祝の会」の

ボランティアに、9月28日(日)には、3年生1名と1年生1名が、「荒川区障がい者大運動会」の運営ボランティアとして参加しました。また、同じ9月28日(日)に実施された「瑞光町会防災訓練」には、レスキュー部員を中心に南千住二中の生徒が23名参加しました。防災訓練では「煙ハウス」や「起震車」の体験、D級ポンプによる放水訓練なども行われました。特に3年生は、D級ポンプの扱いなども手慣れたもので、下級生に手本を示していました。南千住二中では、さらに10月19日(日)に予定されている「南千住地区なかよし祭」「荒川区消防団点検」にも多くの生徒がボランティアとして参加する予定です。南千住二中生が、地域、そして社会のため大きく貢献しています。

【ボランティア参加者】

「長寿慶祝の会」 3年2組男子2名

「荒川区障がい者大運動会」 3年2組女子1名、1年3組女子1名

「瑞光町会防災訓練」 3年1組男子2名、3年2組男子1名、
2年2組女子1名、2年3組男子3名、
1年1組男子1名、女子2名、1年2組男子3名、女子3名、
1年3組男子1名、女子5名



煙ハウス体験とD級ポンプ放水



連合体育大会中止

9月25日(木)に予定されていた荒川

区立中学校連合体育大会は、雨のため残念ながら中止になりました。今年度から使用する予定だった舎人競技場のスタンドには屋根がなく、やむを得ない対応でした。

練習に励んできた選手たちの顔は落胆の表情が隠せませんでした。しかし、前日には生徒会主催の「壮行会」が行われ、選手の励みになりました。また、中止が決まった後には選手が集まり、担当の体育科の先生から、「練習に取り組んできたことには価値がある。大会がなかった分、これからの行事や学校生活に力を注いでほしい。」とねぎらいの言葉がありました。大会は中止になりましたが、練習に一生懸命取り組んできた選手たちに称賛の拍手を送りたいと思います。

なお、区内各校から選手が選ばれる支部対抗陸上競技大会(10/25・26 実施予定)共通女子 200m 走荒川区代表に、これまでの実績を評価され、3年2組女子が選出されました。おめでとうございます。皆の気持ちも背負い、活躍してほしいと思います。

生徒会主催の壮行会



解団式 加藤先生から選手へ

生徒南千住検定

9月17日(水)、今年度の生徒対象南千住検定が行われま

した。検定を始めてから3年目になります。現在南千住二中には3年生に2人のマイスターが存在します。今回も“過去問”に取り組むなどして、全校生徒がマイスターを目指して受検しました。結果は新たなマイスター(98点以上)は残念ながら誕生しませんでした。1級(90点以上)3年生4名、2年生2名、2級(80点以上)3年生17名、2年生4名、1年生4名、3級(70点以上)3年生17名、2年生12名、1年生21名が取得しました。なかなか難しい問題も出題されている中、立派な成績です。普段からの地域学習の成果といえるでしょう。

なお、保護者・一般も対象にした第3回南千住検定は、11月8日(土)10:30~実施されます。現在受検受付中です。ふるってご参加ください。詳しくは本校ホームページ、またはNPO法人「千住すみだ川」ホームページをご覧ください。

認定証の授与(1級取得者)



地域学習にタブレット大活躍

南千住二中では地域学習に取り組んでいます。南千住地域の歴史的な史跡や文化財を調べ発表しています。この地域学習に今年度荒川区全小中学校に配置された「タブレット型パソコン」が大活躍しています。全生徒分の台数があり、パソコン室に行かなくても、学校・学年の全員が教室でインターネット等の利用が

でき、調べ学習には大変有効です。キーボードからタブレットを外して友達と相談したりする姿も見られます。さらに、史跡などに出かけて写真撮影をすることにも利用しています。写真の加工や保存も簡単で、とても便利です。もちろん図書室の本や南千住検定の検定本も活用していますが、これまでより手軽に、能率良く調べ学習ができています。これからさらに教科の授業などでの活用場面も増えていきます。

校外で写真撮影



友達と相談

今年は大亀

地域学習の一環として、今年「千住大橋の大亀」の作成が始まりました。昨年度は「片目の大鯀」の張り子を作り、二天棒の御輿に作り上げました。大亀も大鯀も隅田川・千住大橋にまつわる伝説の生き物(妖怪?)です。大亀は、江戸時代に千住大橋を架ける際、亀の甲羅に当たって杭が打ち込めず、そのため千住大橋の2番目と3番目の橋桁の間が他より広いといわれて

いました。この間を「亀の間」と呼んでいたそうで、そこに大亀がいるとされてい



だんだん亀の姿に

ました。大緋鯉はその橋桁の広いところを行き来していたとの伝説が残っています。(詳しくは南千住検定本をご覧ください。)

大亀の制作は、1,2年生の「大亀御輿プロジェクト」チームが中心になって行っています。昨年に引き続き、NPO法人「千住すみだ川」の方と妖怪造形家の方の協力を得て行われています。制作は昨年度の大緋鯉作りのノウハウがあり、順調に進んでいます。霜月祭までには完成予定で10月22日(水)には、隅田川まで担ぎ出し、目を入れる「点睛の儀式」も行う予定です。また、霜月祭ではこの大亀が登場する劇もあるとか…。完成が楽しみです。



大緋鯉と並んで大迫力

七丁目保育園合同避難訓練

10月9日(木)、南千住七丁目保育園との合同避難訓練を行いました。万が一、大地震などで南千住二中が避難所になった場合を想定し、近くの保育園児を安全に避難所まで誘導し、保護することを目的としています。これまで、南千住二中では、災害時に中学生ができることは何かを考えてきました。その一環として、絆ネットワークの活動で地域に住むお年寄りとの交流を深めてきました。そして今回、お年寄りばかりでなく、若い園児に対しても中学生が役に立てるのではないかと、この合同避難訓練を実施しました。



園児ともすっかり仲良く

7月にレスキュー部だけでテストケースとして行い、それを受けて今回は全校参加で行いました。今回は、レスキュー部員以外からも園児を誘導する役を募りました。各クラスから7~8名が名乗り出てくれました。年長の園児とは手をつなぎ、年中以下はワゴンに乗せ、南千住二中までスムーズに、安全に誘導しました。園児も不安なようすも見せず、しっかりと足取りで避難してきました。災害時には南千住二中の生徒が大きな力になることまちがいありません。自助・共助にもつながる、とても有意義な避難訓練になりました。

第2回進路説明会

10月10日(金)6校時には今年度2回目になる進路説明会が行われました。先日正式に発表された平成27年度都立高校募集要項の説明が主となりました。また、それ以外にも私立高校受験や進路選択に向けての心構えなどの話もされました。会場には3年生全員と保護者、1,2年生の保護者も十数人が訪れ、説明を熱心に聞いていました。3年生はこれから進路選択の重要な時期を迎えます。真剣に考え、自分に合った素晴らしい進路を切り開いてほしいと思います。



ご協力ありがとうございました

先日発生した広島土砂災害に対して南千住二中の生徒会・JRC委員会が、募金活動を行いました。集まった金額は40,493円にのぼり、ゆうちょ銀行から広島県共同募金会に送られました。ご協力ありがとうございました。

部活動等の活躍

運動部は新人大会の時期を迎えています。各部とも健闘しています。また、文化面でも南千住二中学生が表彰されています。

『明るい選挙ポスターコンクール』 **佳作** 2年3組男子

〈陸上競技部〉 **陸上競技ジュニアオリンピック東京都代表選考会**

3年2組女子 共通女子 200m 走、1年2組男子 1年男子 100m 走 出場

〈ソフトテニス部〉 荒川区民大会 男子7ペアが 出場

女子10ペアが 出場 3年生1ペアが **ベスト8 進出**

荒川区新人大会 男子決勝トーナメント 進出

女子決勝トーナメント 進出 **第3位**

〈バレーボール部〉 荒川区民大会 男子(荒川五中との合同チーム) **準優勝**

女子 Aチーム(3年生) **準優勝** Bチーム(2年生) **第3位**

女子はA~Dの4チーム(全部員)が 出場しました。

荒川区新人大会 女子 **準優勝** 第5ブロック大会 進出 決定

南千住マイスターのコーナー

長期間、京都や江戸に潜伏し綿密に計画を立てて決行した決行日は安政七年(1850年)三月三日、この日はゆるぎのないお祝いのため江戸に諸侯は全員江戸城に監禁するに決まっていた。襲撃者たちは大名駕籠見物を装い井伊大老の駕籠を待つ。この日は朝から雪が降り井伊大老の警備も刀に雪除けの袋をかぶせていました。このとき襲撃から井伊大老を守れなかった一因ともいわれています。

多くの見物人の前で事は起りました水戸浪士の一人が駕籠をのけて発砲しそれを台図に井伊大老の駕籠のある彦根藩の行列に斬りかかりました彦根藩士らの反撃も及ばず井伊大老は駕籠から引きずり出され斬首されました。このとき彦根藩を極め降った雪は血で真赤に染まっています。

襲撃をした浪士らは深手を負った者は切腹、逃げた者も自首、また捕らえられ断罪に処されました。金子孫二郎は襲撃には加わっていませんでしたが間もなく捕らえられやはり断罪に処されました。

この事件以降、倒幕の動きは本格化します。歴史を大きく変えた人々がこの南千住の地に眠っています。

南千住と歴史上の人物 その6

『桜田門外の変 金子孫二郎他』

小塚原回向院には安政の大獄の刑死者他、桜田門外の変に関する人物の墓もあり。金子孫二郎は事件の首謀者とされる一人で、それ以外にも関鉄之助、稲田重蔵ら全部で15人が葬られています。



回向院 水戸藩士の墓